



2019年7月24日

会社名 株式会社アスコット

代表者名 代表取締役社長 濱崎 拓実

(JASDAQ: コード番号 3264)

“中庭からはじまる棲み家”『FARE ウエハラコマチ』 首都大学東京大学院生のための見学会を実施 ～価値ある、都市の集合住宅とは～

株式会社アスコット（東京都渋谷区 代表取締役社長 濱崎拓実）は、首都大学東京 教授の伊藤史子氏と非常勤講師でインテリアデザイナーの橋田洋子氏、東京都市大学（旧武蔵工業大学）非常勤講師の建築家 栗田祥弘氏のご提案を受け、コンパクトデザインマンション『FARE ウエハラコマチ』見学会を実施いたしました。

栗田氏が建築を担当した本物件は中庭から各住戸へアプローチする長屋スタイルで、中央の中庭には生活感溢れるコミュニティが生まれ、建物に囲われた配置が安心感と高いセキュリティを叶える集合住宅として、題材に選ばれました。実物件での体験により「都市における集合住宅や街づくりの在り方を考えるきっかけになれば」と企画され、首都大学東京 建築および都市系の大学院生（全14名）が参加いたしました。



■見学会 概要

最初に当社企画プロジェクトマネージャーの田島より、FAREシリーズのコンセプトを説明。建物そのものだけでなく「街の特性や周辺環境を読み解きながら“空間”をデザインする大切さ」が当社のポリシーであることを伝えました。続いて物件の特徴を栗田氏が解説。通りから奥まり傾斜のある難しい土地を見て、留学時代を過ごしたオランダの「ホフフェ」(Hofje)を思い出し「長屋」スタイルを選定したこと、建物の集まる一角が一塊の“街”に感じられるようデザインしたこと、エリアの特性上多様なライフスタイルを想定し全住戸異なる間取りを取り入れて物件の独創性を高めたことなどをお話いただきました。



■ 建築家 栗田氏より

私たちがのように建築やまちを創っていく者は、ただ壁や床を作れば良い訳ではありません。そこで暮らしたり、立ち寄りたりする人々の「生活」をデザインしサポートするのが大きな役目だと考えます。

個性ある「生活」をサポートするために壁や床をツールとして活用する力が試されているのだと思います。学生のみみなさんにも「人」や「文化」に注目して育むデザインを目指してもらえれば幸いです。

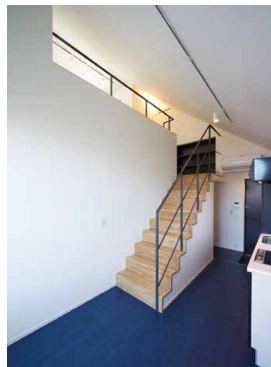
■ 担当講師 橋田氏より

都市住居特論の授業で、私自身のテーマである「街・家を住み継ぐこと」を学生と一緒に様々な角度から探っています。ウエハラコマチはまさに新しい住み継ぎ方の一つであると実感しました。

■ 学生たちのコメント

・木造で古臭いイメージが先行しがちな長屋だが、本物件はそのイメージを払拭し、見事に近代的な住民の生活を実現する建物なのではないか。この独自性がFAREシリーズの価値を高めつつ、街との一体感を醸し出し「空間」を見事に演出しているのではないか。

・奥まった広くない空間の中で、16世帯が干渉しすぎず共用空間を通じて生活していることが面白い。近隣の人との交流が殆どないとされる都心で、敷地内に入れば帰ってきたと思える空間が素敵。素材の組合せ、配置の仕方、空間利用を考えた設計など、社会に出たら忘れてしまいそうなことほど、心地よい空間や建築を作るうえで大切だ。頭の片隅に残して忘れないようにしたい。



FARE ウエハラコマチ

所在：東京都渋谷区上原二丁目 42-10

交通：小田急小田原線・東京メトロ千代田線

「代々木上原」駅徒歩6分

構造・規模：鉄筋コンクリート造・地上3階

戸数：長屋16戸 ※現在満室

建築面積：173.86㎡

間取り：1R+ロフト、1R+メゾネット、1DK+メゾネット

住戸専有面積：13.87㎡～40.17㎡

設計：株式会社栗田祥弘建築都市研究所

施工：中川企画建設株式会社

お問合せ先：株式会社アスコット 経営管理部
E-mail: ir@ascotcorp.co.jp

TEL: 03-6721-0245 FAX: 03-6721-0247
<http://www.ascotcorp.co.jp/>